



2023ねん10がつごう (no. 252) **やすとしよかん**

ほんかん	10:00~18:00 (火ようび~日ようび)	でんわ 077-586-0218 ファックス 077-587-5976
ちゅうずぶんかん	10:00~17:15 (火ようび~日ようび)	でんわ・ファックス 077-589-3382
ホームページ	https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/	



こどもむけイベントのおしらせ

★おはなしの森

まいしゅうにちようび 毎週日曜日 10時30分~

場所：おはなしコーナー

絵本やかみしばいをよみます(3歳~)



★ちっちゃなおはなしの森

10月12日(木) 11時~

場所：おはなしコーナー

赤ちゃんから楽しめる

おはなし会です

★ちっちゃなおはなしの森 in 中主

10月26日(木) 11時~

場所：中主分館

赤ちゃんから楽しめる

おはなし会です



10月のとしよかんカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1 おはなしの森	2	3	4	5 館内整理日	6	7
8 おはなしの森	9 スポーツの日	10 振替休館日	11	12 ちっちゃなおはなしの森	13	14
15 おはなしの森	16	17	18	19	20	21
22 おはなしの森	23	24	25	26 ちっちゃなおはなしの森 in 中主	27	28
29 おはなしの森	30	31				

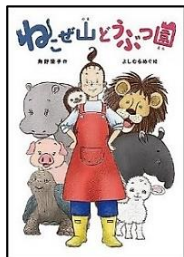
※■の日はとしよかんはお休みです

あたらしくはいったほん

『ねこせ山どうぶつ園』 K913/カト

角野栄子/作 よしむらめぐ/絵 (金の星社)

ねこせ山どうぶつ園には、たのしいどうぶつがいっぱい。ある朝、園長のリリーさんがどうぶつたちにあいさつをしていると「バンスカ ドンスカ ドドンパ ドンパ」と、地めんがゆれるような音がひびいてきて…。



『どうぞめしあがれ!』

佐野・ブーゼルダ・マリア/原案 松田奈那子/文・絵

(ほるぷ出版) E/ワ

モロッコでは、なんでもみんなでわけあうのがあたりまえ。でんとうりょうりパスティラをいただいたら、こんどは、からあげをおすそわけ。さあみんなでたのしくいただきますー!



『世界一長い鉄道トンネル』

笹沢教一/文 鈴木さちこ・萩原まお/絵

(Gakken) K514

アルプス山脈を通る、世界一長い鉄道トンネル「ゴッタルド・ベース・トンネル」。その工事はアルプスの自然環境や生命を守るという思いと、持続可能な輸送のための長い道のりでした。



『食べて楽しむ科学実験図鑑』

尾嶋好美/著 (SBクリエイティブ) K407

料理やお菓子作りを実験として紹介。噴水のようなフルーツポンチ、ぐぐっとのびるヨーグルト、黄身返し卵など、そこで起こる不思議を科学的に説明。どうしてそうなるのかわかるよ。



★ほかにもあるよ! 「あたらしくはいったほん」のたなをみてみてね。よやくもできます。

『アイスクリームが溶けてしまう前に』

小沢健二と日米恐怖学会/著 (福音館書店) **K386**

バングラデシュから、アメリカに引っ越してきたご婦人。ある日、呼び鈴が鳴って、ご婦人がドアを開けると、小さな怪物たちがいっぱいいる。「お菓子をくれないと、いたずらするぞ!」ご婦人はびっくり。— それは、ハロウィーンという、秋のお祭りでした。



『ゼラルダと人喰い鬼』 (評論社) **E/セ7**

トミー・ウンゲラー/作 たむらりゅういち・あそくみ/やく

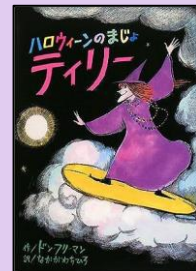
昔むかし、あるところに、子どもを食べる人喰い鬼がいました。この鬼が、毎日、子どもをさらいに町へやってくるので、ひとびとは、ひみつの穴ぐらに子どもをかくしました。町から子どもたちがすっかり姿を消したある日、遠い森の地にすむひとりの娘がやってきて…。



『ハロウィーンのまじょティリー』 **K933/71**

ドン・フリーマン/作 ながわちひろ/やく (BL出版)

ティリーは、ハロウィーンの女王とよばれるくらい、おそろしいまじょ。あしたのハロウィーンの夜には、子どもたちをおどかしてまわるのが、たいせつな仕事です。なのに、きぶんは、うきうき、るんるん。にこにこがおが、もともどらなくなってしまう…。



『魔女たちのパーティー』 **E/マ3**

ロンゾ・アンダーソン/文 エイドリアン・アダムズ/絵 野 絵美/訳 (徳間書店)

ハロウィーンによる、ジャックは、ほうきにのったまじょがとんでいくのをみた。あとをおって、もりへいくと、まじょやおにたちがパーティーのじゅんびをしている! ジャックがこっそりのぞいていると…。



『紳士とオバケ氏』 **K913/17**

たかどのほうこ/作 飯野和好/絵 (フレーベル館)

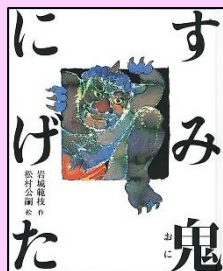
古い家にひとりでくらす、まじめな紳士、マジコ氏。毎日、おなじ時間に起き、おなじ時間に寝るのが習慣です。ところが、ある日、真夜中に目を覚ましてみると、マジコ氏の家のマジコ氏の席に、白い服を着た人がすわっていたのです。



『すみ鬼にげた』

岩城範枝/作 松村公嗣/絵 (福音館書店) **K913/17**

少年ヤスは、見習いとして、お寺で大工たちの仕事を手伝っていた。ある日、仕事を終えたヤスが、お堂の前をとおりかかると、だれかが泣いている声が聞こえた。その声のする屋根のほうへいくと、一尺ばかりのちいさな鬼が、すわっていて…。



『ゾンビのホラーちゃん 1』 **K973/カ1**

バルバラ・カンティーニ/作 安野垂矢子/訳 (文化出版局)

ホラーちゃんは、ふつうの女の子とはちょっとちがう、ゾンビの女の子。夢は、村の子どもたちといっしょに遊び、おともだちになることです。そこで、なんとかして村のみんなと遊びたいホラーちゃんは、ハロウィーンの仮装をしているふりをして、お祭りに参加します。



『宇宙人っているの?』

長沼毅/作 吉田尚令/絵 (金の星社) **K440**

地球にいろいろないきものがいるのとおなじように、宇宙にもいろいろないきものがいるかのうせいがある。そうぞうしてみよう! もしも、宇宙人がいるのなら、どんなすがたをしているのだろう? この宇宙に、いるかもしれないいきものを考える本。

